

農林水産商工常任委員会資料

(平成21年7月21日)

項目

- 1 鳥取県の経済雇用情勢について
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 1
- 2 明日の鳥取県産業を考える懇談会の開催について
【経済通商総室(企画調査チーム)】 …… 3
- 3 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について
【経済通商総室(通商物流チーム)】 …… 4
- 4 FOOD TAIPEI 2009 出展の結果について
【経済通商総室(通商物流チーム)】 …… 6
- 5 セイコーエプソン株式会社からソニー株式会社への中・小型TFT液晶ディスプレイ事業に関する事業資産の一部譲渡について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 7
- 6 企業の工場増設について
【産業振興総室(企業立地推進チーム)】 …… 8
- 7 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 9
- 8 エコポイント交換商品の第2次募集に係る県内説明会の開催について
【市場開拓局市場開拓室】 …… 11

商工労働部

鳥取県の経済雇用情勢について

経済通商総室
企画調査チーム

○県内経済指標は生産活動において一部に持ち直しの動きがみられ、下げ止まりの状況であるが、個人消費で弱めの動きが続き雇用情勢も厳しい状況であることから、総じて厳しい情勢。

(需要面) 個人消費は、弱い動きとなっている。

(産業面) 鉱工業生産は、下げ止まりつつある。

(雇用面) 雇用情勢は、厳しい状況にある。

鳥取県の主な経済指標 (各省統計月報、東京商工リサーチ)

1 需要面

個人消費では、大型小売店販売額(4月)が、全店舗計、店舗調整後(新規店舗を除く)とも前年を下回った。

		(百万円、%)					(億円、%)		
		20年12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	21年4月	5月
鳥取県	販売額	6,234	5,802	4,362	4,698	4,819		15,960	
	前年比	△ 8.6	△ 8.9	△ 7.8	△ 11.9	△ 7.3		△ 5.0	
全国									

(資料:「大型小売店販売概況」経済産業省)

(注) 販売額は全店舗ベース、前年比は店舗調整済。当年と前年の販売額と比較しても前年比とは一致しない。

2 産業面

鉱工業生産指数(4月、季節調整済)では、電気機械工業、電子部品・デバイス工業等の増により76.4で前月比16.6%上昇した。

		20年12月	21年1月	2月	3月	4月	5月		
鳥取県	生産指数(季調済)	85.0	77.8	66.1	65.5	76.4		全国	21年4月
	前月比(季調済)	△ 3.5	△ 8.5	△ 15.0	△ 0.9	16.6			74.8
	前年比(原指数)	△ 17.3	△ 24.0	△ 35.8	△ 31.5	△ 15.9			5.9
									△ 30.7

平成17年=100

(資料:「鳥取県鉱工業指数月報」県統計課、「生産統計速報」経済産業省)

3 雇用面

有効求人倍率(5月)は、0.46倍(前月と同水準、前年同月差0.24低下)と0.5倍を割り込んでいる。

		20年12月	21年1月	2月	3月	4月	5月			
鳥取県	有効求人倍率	0.57	0.53	0.47	0.44	0.46	0.46	全国	21年4月	
	前年同月	0.73	0.74	0.73	0.69	0.69	0.70		0.46	0.44
	雇用保険受給者	3,924	4,242	4,889	5,405	5,776	6,171		0.93	0.93

(資料:「労働市場月報」鳥取労働局)

(出所:東京商工サーチ)

(参考)

○ 緊急保証制度の利用状況

緊急保証制度の利用状況(6月末累計)は、承諾金額394億4,211万円(前年同期比962.5%増)と大幅に増加している。

(件、千円、%)

区分	年度	東 部			中 部			西 部			合 計		
		件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比	件数	金 額	前年比
保証承諾	前年同期間	91	1,981,900	-	51	687,370	-	59	1,428,800	-	201	4,098,070	-
	H20.10 ~H21.6	744	15,396,801	776.9	285	5,876,902	855.0	710	18,168,407	1,271.6	1,739	39,442,110	962.5

※対前年比は、金額ベース

○ 雇用調整助成金の利用状況

雇用調整助成金は、3月以降、事業所数、対象者数、支給金額ともに大幅に増加している。

		(円)					(千円)		
		20年12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	21年4月	5月
鳥取県	事業所数	2	0	2	69	162	175	7,740	18,744
	対象者数	10	0	8	4,763	6,701	7,647	512,370	1,142,230
	支給金額	117	0	53	147,470	259,835	216,805	14,094	32,341
全国									

【参考】他機関の景況分析

○日本銀行松江支店（7月公表）

山陰両県の景気は、悪化に歯止めが掛かりつつある。

- ・個人消費は、低調な動きとなっている
- ・生産は、小幅ながら持ち直している
- ・雇用情勢は、悪化のテンポが幾分緩やかになっている
- ・所得情勢は、厳しい状況が続いている
- ・設備投資（6月短観調査）は、厳しい収益環境のもとで、大幅に減少している
- ・公共投資は、増加している
- ・住宅投資は、水準が大きく下がっている

○鳥取財務事務所（4月公表）

県内経済は個人消費が引き続き弱い動きとなっているなか生産活動が減少。また、雇用情勢が悪化しているほか、企業収益も減益見込みに転じるなど、全体として悪化している。

- ・個人消費は、弱い動きとなっている
- ・生産活動は、減少している
- ・雇用情勢は、悪化している
- ・設備投資（20年度）は、前年度を下回る見込み
- ・企業収益（20年度通期）は、減益見込み

○鳥取銀行（6月公表）

県内の景気は大幅に悪化している。

- ・個人消費は、前年割れの状況
- ・生産活動は、減速感が鮮明
- ・雇用情勢は、一層厳しさを増している
- ・住宅投資は、低迷している

明日の鳥取県産業を考える懇談会の開催について

経済通商総室
企画調査チーム

今後、鳥取県が推進すべき産業振興施策を検討するため、「経済成長戦略会議」及び「鳥取県経済・雇用振興キャビネット」の全体会を合同で開催します。

- ※〔経済成長戦略会議〕安定かつ持続可能な経済成長を実現するための中長期的戦略を構築。
- ※〔鳥取県経済・雇用振興キャビネット〕圏域ごとの経済産業振興施策を構築。

1 会議の概要

(1) 会議の名称

「明日の鳥取県産業を考える懇談会」

～第1回経済成長戦略会議 平成21年度鳥取県経済・雇用振興キャビネット全体会 合同会議～

(2) 目的

世界・日本経済の潮流や日本経済が抱えている問題、鳥取県の発展の可能性等、両会議の議論の活性化に資する内容を議論する。

- ※〔主な内容〕・経済成長戦略会議の委員による基調講演
 - ・知事と経済成長戦略委員2名による鼎談
 - ・鼎談者と会場委員との意見交換

(3) 日時

8月7日（金）15:30～

(4) 場所

ホテルニューオータニ鳥取（鶴の間）

(5) 出席者

<経済成長戦略会議>

委員7名（根津(株)富士通総研専務、藤原(株)インターネット総合研究所代表ほか）

<鳥取県経済・雇用振興キャビネット>

委員39名（青柳(株)大真空鳥取事務所長、上島(株)カミヤ社長、岸田(株)代表取締役ほか）

<鳥取県>

知事、商工労働部長、経済通商総室長、部内関係チーム長、総合事務所長 等

2 今後の予定

(1) 経済成長戦略会議

中間報告会（10月中旬） ⇒ 最終報告会（12月中旬） ⇒ 1月上旬公表予定

(2) 鳥取県経済・雇用振興キャビネット

各WGにおいて、年間5回程度開催し、検討結果は、平成22年度当初予算に反映。

境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

経済通商総室
通商物流チーム

1 運航状況全般

- ◆7月15日現在で、境港～東海間を3往復、東海～ウラジオストク間を2往復。特に大きな問題もなく運航されているが、境港～東海の運航所要時間の実績をもとに一部運航スケジュールの見直しが行なわれた。
- ◆延べ乗客数も1,000名を超え、東海～ウラジオストク間はまだ乗客が少ないものの、東海～境港間は団体ツアー客が利用するなど、着実に乗客数が増加しつつある。
- ◆境港における貨物利用については、就航に伴う初輸入・初輸出の利用があったものの、今後の安定的な貨物確保が課題。

2 運航スケジュールの一部変更（平成21年7月18日から適用、境港の入出港時間に変更なし。）

	月	火	水	木	金	土	日
入港	9:00	12:00	13:00				
	東海	ウラジオストク	東海	境港		東海	境港
出港	14:00	19:00	18:00			18:00	
	東海	ウラジオストク	東海		境港	東海	境港

3 初就航からの運航実績（6月29日～7月15日）

項目	合計	境港～東海	東海～ウラジオ
運航回数	5回（往復）	3回（往復）	2回（往復）
乗客数	1,030名	934名	96名
貨物量（※）	コンテナ5本＋パレット貨物		

※境港扱い分のみ

4 最近の主な動き

7月9日（木）	○境港入港。通常日程による境港への初寄港 ○東海港から初輸入貨物が到着（韓国→日本、県内2社）
7月10日（金）	○鳥取産スイカのロシアへの試験輸出初出荷式開催（JA鳥取中央選果場） ○境港出港。
7月12日（日）	○境港入港。韓国からの大山登山ツアー第一陣として、200名余りが来県 ○境港出港。鳥取産スイカ600個がウラジオストクに向けて初輸出
7月17日（金）	○境港出港。境港発の旅行ツアー（日本人観光客）の第一弾が出発 ○鳥取産スイカのウラジオストクでの宣伝活動実施（小売店での試食販売等）
7月19日（日）	○境港入港及び出港。 ○韓国からの大山登山ツアー第二陣として、約400名が来県。

5 課 題

①安定運航確立のための貨物及び旅客の誘致

・DBS社の自立的な取組みを促すとともに、運航会社や貿易関係機関等と連携して誘致を行う。

②日本法人「DBSクルーズフェリージャパン㈱」の体制強化

・旅客、貨物の営業及び窓口業務強化のための人員体制の早期充実をDBS社に要請中。

③スムーズな入国手続きの確保

・処理速度の早い入国管理システムの導入を法務省入国管理局に要望中。

④ウラジオストックにおける貨物・旅客の受入体制の強化

・DBS社の現地事務所は開設されているものの、代理店等と連携した円滑な物流、通関体制の構築は緒についたばかり。早期のシステム確立を働きかける。

6 今後の取組

- ・県外での航路利用促進懇談会の開催（境港貿易振興会主催）
（東京都：8月6日、高松市：9月頃）
- ・中ロ国境周辺の物流調査
- ・航路PRのための出前説明会（伯耆町溝口公民館、鳥取中部・岡山真庭協議会、町村会等）
- ・境港視察ツアー（関西経済連合会） 等

7 元気な鳥取県産業推進プロジェクト（枠予算）の実施について

6月30日に正式就航したことに伴い、翌7月1日には韓国向け貨物の初輸出を祝う記念行事を実施。貨客船の貨物利用について県内外に広く周知を行った。

【事業概要】

- ・日 時 7月1日（水）午後4時30分から
- ・場 所 境港国際旅客ターミナル横 コンテナヤードにて
- ・出席者 荷主企業、船社総代理店、貨物集荷代理店
- ・内容等 関係者による「くす玉割」等を行い、初荷の出荷を祝った。

【執行状況】

（単位：千円）

類 型	事 業 名	執行額
県内外への情報発信	定期貨客船航路正式就航に係る初荷祝賀行事	982
今回報告額		982
報告済額		0
合 計		982

【参考】元気な鳥取県産業推進プロジェクトの概要

1 事業の概要

優れた企業や技術、製品、人材など県内産業資源の県内外への情報発信や販路拡大など、県内産業の高付加価値化に向けたきっかけ作りを行う。

機動的な事業実施のため当部に枠予算化を設定。可能な限り時期、内容等を常任委員会に事前報告。

（参考）平成18～19年度 鳥夢（とりむ）カムトゥルー事業を改称

2 事業内容

- (1) 県内外への情報発信 優れた技術・製品・人材など県内産業資源の付加価値を情報発信
- (2) 経済活力の増進 著名経済人等の招聘、シンポジウム、セミナーの開催など
- (3) 県産品の販路拡大 県外での商談会等、県内製品のマッチングの場をフレキシブルに提供

3 予算額 20,000千円

FOOD TAIPEI 2009 出展の結果について

経済通商総室
通商物流チーム

6月23日(火)～26日(金)、台湾・台北市にて開催された国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2009」に県内企業9社が出展され、台湾食品市場における販路開拓の取組を行いました。

なお、この取組は、県予算による海外での販路開拓を目的とした事業で、財団法人鳥取県産業振興機構が直接の実施主体となって行ったものです。

1 FOOD TAIPEI 2009概要

- (1) 日 時 2009年6月23日(火)～26日(金) 午前9時～午後5時
- (2) 会 場 台北ワールド・トレード・センター (TWTC) 南港展示ホール
- (3) 主催者 中華民国対外貿易発展協会 (TAITRA)

2 出展ブース概要 (出展企業数9社)

企業名		主な出展商品	備考
(有)あぶい蒲鉾	琴浦町	魚肉練り製品	
(有)AONケミカル	鳥取市	二十世紀梨酢 ほか	
(株)エムコ	米子市	健康食品 (アントシアニンパウダー ほか)	
(株)海産物のきむらや	境港市	高分子もずくフコイダン、味付岩もずくなど	新規出展
(株)かにじまん	境港市	かにパウダー入り加工品 ほか	新規出展
(株)ゼンヤクノー	鳥取市	健康茶	新規出展
(株)大陸	鳥取市	無添加調味料 ほか	新規出展
千代むすび酒造(株)	境港市	日本酒、焼酎、リキュール	
(株)へいせい	琴浦町	あご入り鰹ふりだし	新規出展

3 商談件数

188件 (うち、成約3件、成約見込8件)

4 出展の成果及び今後の予定

- ・台湾コーディネーター (鳥取県産業振興機構が委託) との連携のもと、事前の物流ルートの構築や有望パイヤーへの事前訪問等の準備が功を奏し、各企業とも内容の濃い商談ができた。
- ・出展経験企業と新規出展企業がノウハウを共有することにより相乗効果を生む等、全体としてのモチベーションを高く保つことができた。
- ・とっとり貿易支援センター (鳥取県産業振興機構、ジェトロ鳥取、さかいみなと貿易センター、境港貿易振興会) や台湾コーディネーターと連携しながら、引き続き成約に向けたフォローアップを実施。

5 出展企業の主な声

- ・日本製品に対する評価の高さを肌で感じ、台湾での販売のきっかけを得ることができた。
- ・引き合いがあったパイヤーと早急にコンタクトをとり、成約につなげたい。

6 参考 (鳥取県ブースの様子)



セイコーエプソン株式会社からソニー株式会社への中・小型TFT液晶ディスプレイ事業に関する事業資産の一部譲渡について

産業振興総室
企業立地推進チーム

1 両社の締結した契約の概要（6月30日 プレスリリース）

<2009年内>

- (1) エプソンイメージングデバイス㈱(以下「エプソンイメージング」という。)が推進する中・小型液晶ディスプレイ事業（高温ポリシリコンTFT液晶などを除く。）に関する営業機能をソニーグループに移管（営業人員の出向を含む。）

<2010年4月1日付（予定）>

- (1) エプソンイメージングよりソニーモバイルディスプレイ㈱へ、同本社のアモルファスシリコンTFT液晶生産に関連する建物・設備等の一部譲渡及び土地の一部貸与
- (2) セイコーエプソン㈱(以下「エプソン」という。)の有する中・小型TFT液晶ディスプレイ（高温ポリシリコンTFT液晶などを除く。）に関する特許、ソフトウェア、技術情報等の知的財産のソニーグループへの一部譲渡
- (3) 中・小型TFT液晶ディスプレイ事業（高温ポリシリコンTFT液晶などを除く。）の開発、設計、製造等に従事するエプソングループの一部従業員は、ソニーグループへ出向

2 エプソンイメージングからの情報（6月30日 エプソンイメージング記者会見）

- 2009年度は営業機能のみがソニー㈱(以下「ソニー」という。)に移るのでエプソンの売上についての影響は軽微。
- 2009、2010年度はエプソンイメージングの事業所はほぼ今までどおり操業継続。
- 2010年度中の両社の協議の動向により2011年度より実質的な影響が出ることとなる。
- 今回ソニーに譲渡しない低温ポリシリコンTFT液晶事業についても、ソニーに譲渡できるよう動いていきたい。

3 ソニーからの情報（7月3日 商工労働部長 本社訪問）

- プレスリリース以上の内容については、今時点では具体的なものは決まっていない。
- 顧客の幅広い要望に答えていくために、ソニーが持っていないアモルファスTFT液晶が欲しかった。鳥取はアモルファスの拠点としてやっていく。
- 低温ポリシリコンTFT液晶事業については、ソニーの中でアモルファスも含めたポートフォリオ（需要に基づいた適正な生産体制の配置。）をこれからどう組み立てていくかによる。
- エプソンとソニーの顧客はほとんど重ならないので、相乗効果で広がっていく可能性もあるし、製品のポートフォリオが増えることで新たな展開も期待できる。

4 今後の対応

- これから資産の譲渡や従業員の取り扱い等、詳細な協議が行われていくので、その動向を注意深く見守りながら更なる情報収集に努める。
- 今後とも関係機関と連携しながら、地域の雇用や技術が守られるよう、全力を挙げて両社に働きかける。

企業の工場増設について

産業振興総室
企業立地推進チーム

「コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社（伯耆町）」が、独自の物流システムの構築と新商品に対応した生産設備の導入を目的として工場等の増設を行うことに伴い、これを支援する鳥取県及び伯耆町との間で、以下のとおり協定書の調印式を行います。

1 企業概要及び投資計画

- (1) 名称 コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 山崎 正雪
- (3) 所在地 西伯郡伯耆町金屋谷306番地1
- (4) 資本金 1億円
- (5) 従業員数 41名
- (6) 業務内容 天然水の製造
- (7) 投資計画

①投資理由：従来製品は全てコカ・コーラナショナルビバレッジに一元的に納入していたが、コカ・コーラグループの再編により、コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社独自に物流システムの構築が必要となった。また、新商品「いろはす」（環境に配慮した薄型ペットボトル使用）に対応した生産設備を導入する必要が生じた。

②増設予定地：コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社敷地内

③投資内容：倉庫新設、生産設備の更新等

④投資額：約10億円

⑤新規雇用者：5名

⑥操業開始：平成21年10月（予定）

- (8) 行政支援 企業立地等事業助成条例に基づく支援

2 調印式の時期等

- (1) 日時 平成21年7月29日(水) 午前11時30分～
- (2) 場所 知事公邸第1応接室
- (3) 出席者 コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社

	代表取締役社長	山崎 正雪
伯耆町	町長	森安 保
鳥取県	知事	平井 伸治

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

市場開拓室

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

1 アンテナショップ効果事例

アンテナショップに都内の会社を招待、又は営業を行った結果、食品・外食関係会社が販売商品に関心を示し、商談中。

商談相手	商談品目
通販ネット会社	のどぐろ一夜干し、しいたけ加工品
総合食品卸会社	しいたけ加工品
食品スーパー	らっきょう、トマトジュース、トマトケチャップ等
都内高級料理店	地酒、梨加工品

2 取組状況

〈店舗魅力・認知度向上〉

- ・商品の充実を図るため、アンテナショップ商談会を開催(7/13・14、23事業者参加)
- ・雑誌等でアンテナショップを紹介
(TOKYO★1週間(7/7号)、週刊文春(7/23号)、週刊女性(7/28号)、週刊女性自身(7/28号)等)
- ・にほんばし島根館とのスタンプラリーを実施(7/1～20)
- ・戸越銀座感謝祭にアンテナショップが出店(7/4・5・11・12)
- ・ふるさとアンテナショップめぐりキャンペーン(京王電鉄(株)ほか主催、7/15～8/31)に初参加

〈情報受信〉

- ・商品納入事業者にアンテナショップの販売状況等の情報をフィードバックする情報伝達会を開催(7/13・14、16事業者参加)

3 運営状況

(1) 来客実績 (8/29(金)から6/30(火)まで)

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高(千円)	催事売上高(千円)	来店客数	営業日数	売上高(千円)
8月	2,117名	3日	2,701	73	149名	2日	900
9月	8,404名	30日	10,176	227	2,321名	24日	6,265
10月	5,204名	31日	6,383	100	1,972名	26日	6,441
11月	4,657名	30日	6,244	145	1,943名	24日	7,504
12月	4,646名	30日	7,191	147	2,061名	25日	8,151
1月	3,653名	28日	4,844	0	1,713名	22日	7,162
2月	4,431名	28日	6,597	114	1,649名	23日	6,846
3月	4,550名	31日	6,093	0	1,689名	25日	6,823
4月	4,737名	30日	5,925	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
累計	54,867名	302日	71,445	1,167	19,253名	245日	69,916

注) 催事売上高は内数

(2) 6月の人気商品・メニュー

物 販 店 舗		レ ス ト ラ ン	
1位：大山ソフトクリーム	380円	ランチ：週替わりパスタセット	1,000円～
2位：砂丘らっきょう漬け(甘酢)	1,050円	ディナー：月替わりトトリコース	4,200円
3位：打吹公園だんご	900円(10本) 500円(5本)		
4位：豆腐ちくわ(生)	231円		
5位：砂丘らっきょう漬け(ピリ辛)	1,050円		

(3) 今後の催事情報

開催期間	出 展 事 業 者	内 容
7/23(木)～25(土)	JA 鳥取中央女性会赤碕支部加工グループ とまとプラス	トマトで作った手づくりケチャップ、ジュースの試食販売
7/26(日)～28(火)	JA 鳥取中央北条支所ぶどう加工部	ぶどう加工品の試食販売
7/29(水)～31(金)	ありのみ倶楽部	ハウス秋栄梨の販売
8/1(土)～3(月)	県立米子南高校体験学習	県内専門高校の開発した商品の販売
8/5(水)～7(金)	尙高塚かまぼこ店	かまぼこの試食販売



戸越銀座感謝祭

エコポイント交換商品の第2次募集に係る県内説明会の開催について

市場開拓室

1 エコポイント制度の概要

国の経済危機対策に盛り込まれた省エネ家電の購入促進策。

【目的】①CO ₂ の削減、②経済の活性化、③地上デジタル放送対応テレビの普及
【対象家電】エアコン、冷蔵庫、地上デジタル対応テレビの購入者にポイント付与
【交換商品】グリーン家電エコポイント事務局に登録し、承認された商品と交換
【開始時期】7月1日にエコポイント申請受付開始、8月に商品交換開始を予定

〈交換商品の募集対象〉

- ① 商品券・プリペイドカード
- ② 地域産品（地域産品を提供する事業者）
- ③ 省エネ・環境配慮に優れた商品（製品を提供する事業者）

2 交換商品の募集

- ・第1次 6月1日～6月11日 271件
- ・第2次 7月6日～7月23日

3 交換商品第2次募集に係る説明会の開催

「食のみやこ鳥取県」をPRする良い機会であり、地域産品の登録を積極的に支援するとともに、地域商品券など地域へ還元される交換商品への積極的活用を支援するため、第2次募集に際してグリーン家電普及推進室と鳥取県の共催で説明会を開催。

- ・開催日時 : 7月10日（金）午後2時～
- ・会場 : 鳥取県産業技術センター大会議室
- ・主催 : グリーン家電普及推進室、鳥取県
※グリーン家電普及推進室は、環境省・経済産業省・総務省の共管組織
- ・説明 : グリーン家電普及推進室室長代理 齋藤春加（さいとう はるか）氏
- ・参加者 : 県内商工団体、農林漁業団体、市町村等30人参加
- ・概要 : エコポイント制度の仕組み、第2次募集について説明、質疑

※別途、環境省・経済産業省・総務省主催で7月16日広島、7月17日松江で説明会を開催。交換商品については、今後も定期的に募集が行われる予定。

4 現在の主な動き

応募に向け、検討・準備中の団体、商品等

- ・鳥取県商工会連合会による地域産品のギフトセット
- ・琴浦町商工会、北栄町商工会による地域型商品券
- ・鳥取県東京アンテナショップ
- ・(社)鳥取県物産協会
- ・(株)パープルタウンによる地域・中小企業型商品券等